



## 2021年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月15日

上場会社名 株式会社サカイホールディングス  
 コード番号 9446 URL <http://sakai-holdings.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 肥田 貴将

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 山河 和博

TEL 052-262-4499

四半期報告書提出予定日 2021年2月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年9月期第1四半期の連結業績(2020年10月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	3,889	6.8	256	18.5	220	35.2	126	252.1
2020年9月期第1四半期	4,173	1.4	216	1,352.8	163		36	

(注) 包括利益 2021年9月期第1四半期 155百万円 (114.2%) 2020年9月期第1四半期 72百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	12.32	12.22
2020年9月期第1四半期	3.51	3.47

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第1四半期	27,689	3,774	12.3
2020年9月期	27,972	3,748	12.1

(参考) 自己資本 2021年9月期第1四半期 3,410百万円 2020年9月期 3,383百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期		12.50		12.50	25.00
2021年9月期					
2021年9月期(予想)		12.50		12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,357	0.8	532	3.4	526	13.5	287	30.7	27.94
通期	15,988	4.4	1,222	18.8	1,127	15.7	587	23.8	57.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期1Q	10,956,500 株	2020年9月期	10,956,500 株
期末自己株式数	2021年9月期1Q	643,167 株	2020年9月期	655,167 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年9月期1Q	10,304,985 株	2020年9月期1Q	10,262,872 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連累計期間における我が国及び世界経済は、新型コロナウイルス感染症の終息の見通しがたらず引き続き厳しい状況が続くと見込まれております。経済活動の再開と非常事態宣言が散発的に進められる中、経済回復への道のりは、極めて不透明な状況となっております。

一方、日本の通信市場では、総務省による競争環境整備に向けたアクションプランの発出、仮想移動体通信事業者(MVNO)による格安スマートフォンサービスの普及など事業環境が大きく変化しています。

このような経済環境のもとで、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は3,889百万円(前年同四半期比6.8%減)、営業利益は256百万円(前年同四半期比18.5%増)、経常利益は220百万円(前年同四半期比35.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は126百万円(前年同四半期比252.1%増)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①再生可能エネルギー事業

再生可能エネルギー事業につきましては、SDGsの達成に向け太陽光発電事業を中心にサステナビリティ活動を推進しています。これからも持続可能な成長に必要な社会課題の解決に取り組んでいきます。現在、太陽光発電所15ヶ所(内1ヶ所は子会社のエスケーアイ開発株式会社が運営)が順調に稼動しております。この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は503百万円(前年同四半期比18.3%増)、営業利益が177百万円(前年同四半期比33.7%増)となりました。

#### ②移動体通信機器販売関連事業

移動体通信機器販売関連事業につきましては、「SoftBank」ブランドが前期に引き続き「スマホデビュープラン」など好調に推移しました。さらに、2020年10月には、5G対応のiPhone12シリーズの販売を開始しました。また、新型スマートフォンを中心とする新機種と共に電力と通信等のセット販売を継続してまいりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症により外出自粛、若年者を中心としたネット購買、買換期間の長期化により、市場環境は厳しく販売台数は減少いたしました。当社は引き続き各店舗において生産性の向上と伴に顧客満足度の向上を図り、対面販売の強みや販売機会を積極的に設け販売促進に努めてまいります。この結果、当第1四半期連結累計期間における移動体通信機器の販売台数は、新規・機種変更を合わせ23,863台(前年同四半期比9.5%減)となり、売上高は2,783百万円(前年同四半期比16.1%減)、営業利益は171百万円(前年同四半期比50.5%減)となりました。

#### ③保険代理店事業

コールセンターを拠点とした保険代理店事業につきましては、子会社である株式会社セントラルパートナーズにおいて岐阜、青森、新潟にコールセンターの拠点を設けています。販売力と一人あたりの生産性の向上に努め、アフラック、朝日生命を中心に複数の保険会社の商品の取扱を継続してまいりました。しかしながら、コロナ禍において、継続契約の解約が増加したものの、お客様の保険ニーズが高まったことから新規契約数の増加により、利益の改善が見られました。この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は290百万円(前年同四半期比60.1%増)、営業利益は24百万円(前年同四半期は74百万円の営業損失)となりました。

#### ④葬祭事業

葬祭事業につきましては、子会社であるエスケーアイマネジメント株式会社を2009年9月に設立以降、愛知県を中心に現在9会館を運営しております。新型コロナウイルス感染症の影響から葬儀および法要件数の減少、単価の低下がみられますが、引き続き今後のニーズに応えるべく営業施策を継続し、会員増加に努めてまいります。この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は241百万円(前年同四半期比10.9%増)、営業利益は20百万円(前年同四半期比11.0%増)となりました。

⑤不動産賃貸・管理事業

不動産賃貸・管理事業につきましては、子会社であるエスケーアイ開発株式会社で2007年8月に大型立体駐車場「エスケーアイパーク法王町」を名古屋市千種区にオープンしております。新型コロナウイルス感染症の影響で、近隣店舗の営業自粛により駐車場の稼働率が下がりました。この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は18百万円(前年同四半期比6.7%減)、営業利益は3百万円(前年同四半期比20.1%増)となりました。

⑥ビジネスソリューション事業

ビジネスソリューション事業につきましては、子会社であるエスケーアイフロンティア株式会社を2018年11月に設立後、新電力の法人市場への販売ならびに法人向けモバイルフォンの販売を積極的に行っております。この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は55百万円(前年同四半期比322.9%増)、営業利益は4百万円(前年同四半期は10百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は27,689百万円となり、前連結会計年度末の資産合計27,972百万円と比べ282百万円減少しました。これは主に、商品が341百万円増加した一方で、現金及び預金が430百万円、機械装置及び運搬具(純額)が169百万円減少したことなどによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は23,914百万円となり、前連結会計年度末の負債合計24,223百万円と比べ308百万円減少しました。これは主に、買掛金が358百万円増加した一方で、未払法人税等が287百万円、長期借入金が378百万円減少したことなどによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は3,774百万円となり、前連結会計年度末の純資産合計3,748百万円と比べ25百万円増加しました。これは主に、その他有価証券評価差額金が18百万円増加した一方で、利益剰余金が13百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期の連結業績予想につきましては、2020年11月16日に発表しました「2020年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

今後の見通しにつきましては、引き続き検討を行い、連結業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかに開示するものであります。

なお、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,001,373	4,570,520
売掛金	2,520,343	2,571,431
商品	404,359	746,305
その他	195,356	168,010
流動資産合計	8,121,432	8,056,268
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,560,466	2,527,893
機械装置及び運搬具(純額)	10,262,227	10,093,073
土地	3,662,988	3,662,988
その他(純額)	71,868	68,502
有形固定資産合計	16,557,550	16,352,458
無形固定資産		
のれん	1,254,410	1,233,088
その他	495,995	489,341
無形固定資産合計	1,750,405	1,722,430
投資その他の資産		
その他	1,550,515	1,566,361
貸倒引当金	△7,884	△7,884
投資その他の資産合計	1,542,631	1,558,477
固定資産合計	19,850,587	19,633,366
資産合計	27,972,020	27,689,634
負債の部		
流動負債		
買掛金	583,908	942,707
短期借入金	4,490,000	4,590,000
1年内償還予定の社債	420,000	420,000
1年内返済予定の長期借入金	1,391,539	1,403,454
未払法人税等	404,881	116,942
賞与引当金	144,142	71,487
その他	737,445	690,945
流動負債合計	8,171,916	8,235,536
固定負債		
社債	725,000	725,000
長期借入金	14,408,318	14,029,833
繰延税金負債	31,030	36,572
役員退職慰労引当金	165,400	176,040
退職給付に係る負債	125,517	129,473
資産除去債務	304,109	299,533
その他	291,835	282,993
固定負債合計	16,051,210	15,679,445
負債合計	24,223,126	23,914,982

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	747,419	747,419
資本剰余金	684,918	684,918
利益剰余金	2,661,883	2,648,638
自己株式	△839,158	△823,788
株主資本合計	3,255,062	3,257,187
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	309,123	327,707
繰延ヘッジ損益	△180,186	△174,772
その他の包括利益累計額合計	128,936	152,935
新株予約権	7,814	7,336
非支配株主持分	357,080	357,193
純資産合計	3,748,893	3,774,652
負債純資産合計	27,972,020	27,689,634

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
売上高	4,173,227	3,889,504
売上原価	2,718,739	2,465,156
売上総利益	1,454,488	1,424,348
販売費及び一般管理費	1,238,254	1,168,151
営業利益	216,233	256,197
営業外収益		
受取利息	36	2
受取配当金	13,640	13,609
受取保険金	13,838	—
その他	5,084	13,781
営業外収益合計	32,600	27,393
営業外費用		
支払利息	46,280	50,741
融資手数料	10,714	10,981
その他	28,702	1,252
営業外費用合計	85,697	62,975
経常利益	163,136	220,614
特別利益		
固定資産売却益	—	13,285
特別利益合計	—	13,285
特別損失		
固定資産除却損	2,113	—
固定資産売却損	—	2,705
減損損失	30,689	—
特別損失合計	32,803	2,705
税金等調整前四半期純利益	130,333	231,195
法人税等	127,494	99,300
四半期純利益	2,838	131,895
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△33,233	4,901
親会社株主に帰属する四半期純利益	36,071	126,993



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	2,838	131,895
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40,465	18,583
繰延ヘッジ損益	29,492	5,414
その他の包括利益合計	69,957	23,998
四半期包括利益	72,795	155,893
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	106,029	150,991
非支配株主に係る四半期包括利益	△33,233	4,901

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	再生可能 エネルギー 事業	移動体通信 機器販売関 連事業	保険 代理店 事業	葬祭事業	不動産 賃貸・ 管理事業	ビジネスソ リューション 事業	計		
売上高									
外部顧 客への 売上高	425,411	3,319,844	181,500	217,960	15,423	13,086	4,173,227	—	4,173,227
セグメ ント間 の内部 売上高 又は振 替高	—	—	—	—	4,377	—	4,377	△4,377	—
計	425,411	3,319,844	181,500	217,960	19,800	13,086	4,177,604	△4,377	4,173,227
セグメン ト利益又 は損失 (△)	132,692	345,751	△74,413	18,520	2,666	△10,651	414,566	△198,333	216,233

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△198,333千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△200,795千円、その他の調整額2,462千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「移動体通信機器販売関連事業」セグメントにおいて、30,689千円の固定資産の減損損失を計上しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2020年10月1日至2020年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	再生可能 エネルギー 事業	移動体通信 機器販売関 連事業	保険 代理店 事業	葬祭事業	不動産 賃貸・ 管理事業	ビジネスソ リューション 事業	計		
売上高									
外部顧 客への 売上高	503,067	2,783,776	290,635	241,660	15,024	55,340	3,889,504	—	3,889,504
セグメン ト間の 内部 売上高 又は振 替高	—	—	—	—	3,455	—	3,455	△3,455	—
計	503,067	2,783,776	290,635	241,660	18,479	55,340	3,892,959	△3,455	3,889,504
セグメン ト利益	177,443	171,265	24,995	20,561	3,203	4,957	402,426	△146,229	256,197

(注) 1. セグメント利益の調整額△146,229千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△149,524千円、その他の調整額3,295千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。